

# Smile

研究通信  
呉中央学園  
R3. 2. 5  
文責 藤井

## 有意義な研修になりました！

1月15日（金）および29日（金）、学園研修（各学年部別）を行いました。安田女子大学の朝倉 淳先生に、「生活科」および「総合的な学習の時間」について、全体計画・年間指導計画（昨年10月の指導を受けてさらに修正したもの）についての御指導や、現在すすめている学習について御助言をいただきました。

各学年部の先生方からは、単元のストーリーに基づいて、第一次の課題設定から、第二次、第三次への課題解決のサイクルが明確になり、今行っている学習の中でも、課題を解決するためにもっと調べたい、こんなことをやってみたい等、子ども達の意欲の高まりが見られるようになった、などの意見が出ていました。

朝倉先生のご指導の中では、SDGsの視点を大切にすること、呉に貢献するということは、もっと広い世界（地球）に貢献していることにつながっている、ということを強調されていました。また、具体的な指導のポイントについても教えてくださいました。



### <「生活科」のポイント>

- ★体験から表現へとつなげる。（子どもたちの気づきを整理することでさらなる気づきが出てくる。）
- ★発問を大切にする。（子どもたちは経験に基づいて考える。）

### <「総合的な学習の時間」のポイント>

- ★ポートフォリオを活用する。（新たな視点が見えてくる。教師の支援が大切である。）
- ★振り返りを活かす。（新たな課題設定につながる。）
- ★子ども達に何をするかを決めさせる。（教師が先に絞っておいて、子ども達に考えさせる。）
- ★第一次から第三次に向けて、自分なりの学びや成長が見られることが大切。（幅広くとらえる。）
- ★体験をさせる時には課題意識を持たせることが大切。（仮説を持たせておくことも有効。）
- ★第一次でためしの活動を取り入れることで課題の発見につながる。（まずはやってみる。）

今年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、学習形態や校外外での人との関わりに制限がある中で、学習をすすめてきました。来年度は、今年度作成した単元構想および年間指導計画に基づいて、探求的な学習をすすめていきたいと思います。

